

平成二十七年年度

山梨県中学校技術・家庭科研究会

# 研 究 大 会

## 次 第

- 1 開会のことば
- 2 会長あいさつ
- 3 議 長 選 出
- 4 議 事
  - (1) 平成26年度事業報告・会計決算・監査報告の承認の件
  - (2) 平成27年度役員の承認の件
  - (3) 平成27年度事業計画，研究並びに予算の承認の件
  - (4) その他
- 5 感謝状贈呈
- 6 講評
- 7 諸 連 絡
- 8 閉会のことば

平成27年6月23日（火）

玉穂総合会館

---

## 総会資料：目次

---

・平成26年度事業の報告	-----	1
・平成26年度決算報告	-----	7
・平成26年度会計監査報告	-----	7
・平成27年度研究会顧問一覧	-----	8
・平成27年度研究会役員一覧案	-----	9
・平成27年度各学校技術家庭科名簿	-----	10
・平成27年度事業計画案	-----	11
・平成27年度予算案	-----	12
・連絡事項	-----	13
・研究会会則	-----	15
・研究会表彰規定	-----	16
・総合教育センター技術・家庭科にかかわる研修会について		17

## 平成26年度 事業経過報告

	全体にかかわる事業計画	事務局関係	山梨関プロ関係
4		2(土):第15回全国ものづくりフェア運営委員会 於:東京都中央区立佃中学校	
5	支部名簿完成提出	24(土):全日中理事会 於:東京都新宿区市ヶ谷ヴォーグビル 30(金):関プロ理事会 於:群馬県 アニバリーコートラシーネ	
6	3(火):第1回研究会(理事・事務局) 於:玉穂総合会館 26(木):平成26年度研究大会 於:玉穂総合会館	16(月)甲府西中へ訪問	19(木):第2回研究会(事務局研究部) 於:総合教育センター 26(木):関プロ準備委員会
7	1(火):中学校技術・家庭科授業実践研修会(1回目)<研修番号237> 於:総合教育センター 13:20~ 関プロ群馬大会提案原稿の検討①		
8	8(木):中学校技術・家庭科授業実践研修会(2回目)<研修番号237> 於:総合教育センター 13:20~ 関プロ群馬大会提案原稿の検討② * 群馬関プロ支部ごと申込受付	2(土):第15回全国ものづくりフェア運営委員会	第3回研究会 <総務・研究・編集・事務局> 8(木)於:総合教育C <運営部>4(月)於:八田中
10	14(火):県教委主催・平成26年度学力向上推進事業「授業力養成講座」 於:総合教育センター		14(火):第4回研究会 於:総合教育C ミニ関プロに向けて、群馬視察 28(火):第5回研究会 於:玉穂総合会館 中村先生の講義
11	6(木):ミニ関プロ:午後 於:甲府市立西中学校 20(木):関プロ群馬大会 全体会 於:前橋市民文化会館 21(金):関プロ群馬大会 分科会 23(日):ロボコンやまなし2014 於:アイメッセ	20(木):関プロ群馬大会 11時~理事研修会	6(木):第6回研究会 於:甲府市立西中学校・授業終了後授業の反省と各部今後の予定
12	7(日):ものづくりフェア関東大会 千葉 於:流山市生涯学習センター ・運営協力(ロボコン審判)生徒引率 13(土)~14(日): 技術・家庭科作品展 於:甲府市総合市民会館展示室	13(土):第15回全国ものづくりフェア運営委員会 於:場所未定	9(火):第7回研究会(研究・提案者・授業者) 於:玉穂総合会館
1	13(火):技術家庭科教育課程研修会<研修番号236> 24(土)~25(日) 第15回創造ものづくり教育フェア ・「豊かな生活を創る アイデアバッグ」コンクール 本県運営担当 審査員派遣	23(金):第15回全国中学生創造ものづくり教育フェア ・前日準備 運営 フェア担当派遣	13(火):各分科会から提案発表
2			13(金)関プロ山梨大会理事研修会および研究部研修会(第8回研究会) 於:クラウンパレス甲府 指導助言・文科省 教科調査官 24(火):第9回研究会(研究・提案者・授業者) 於:玉穂総合会館
3		7(土):第15回全国ものづくりフェア運営委員会	

# 平成26年度 山梨県中学校技術・家庭科研究会 教科指導に関わる生徒の大会実績について

## 1. 関プロ研究大会作品展

(責任者 保坂 厚雄 教諭：明見中)

- ・実施日 平成26年11月20日(木)
- ・開催場所 前橋市民文化会館
- ・参加状況 山梨県からは、以下の6点の作品を出品しました。

作品名	生徒名	学年	学校名	分野
飾り棚	中山 樹	2	身延町立身延中	技術
ぴかぴかハンガー	内田 大輔	3	甲斐市立竜王中	技術
ティッシュボックス	井柳 美柚	3	甲斐市立敷島中	技術
ティッシュボックスカバー	望月 莉奈	2	甲府市立南中	家庭
わたしのこだわり弁当	秋山 雄太郎	3	南アルプス市立若草中	家庭
ブックカバー	中野 ひろみ	2	甲府市立上条中	家庭

## 2. ロボコンやまなし2014

(責任者 石田 宏 教諭：甲府東中)

- ・実施日 平成26年11月23日(土)
- ・開催場所 アイメッセ山梨
- ・多くの先生方にご協力いただきありがとうございました。結果は2ページ後にあります。

## 3. 全国中学生創造ものづくり教育フェア 関東甲信越地区大会 (通称：関プロフェア)

- ・実施日 平成26年12月7日(日)
- ・開催場所 千葉県流山市生涯学習センター
- ・参加状況 ロボコンやまなし2014で優秀な成績を収めたチームが参加

### 授業内部門

- 附属中 妖精王 3位
- 附属中 Green 予選敗退
- 附属中 LIFE!! ベスト8
- (審査員特別賞(アイデア賞) 全国大会出場)

### 応用部門

- 甲府東中 東雲 ZEKE ベスト8
- 甲府東中 EastG3 ベスト16
- 山梨南中 山南 trinity ベスト16



\*審判・引率の先生方ありがとうございました。

## 4. 山梨県技術・家庭科生徒作品展

(責任者 山岸 正人 教諭：甲府北中)

- ・実施日 平成26年12月13日(土)～14日(日)
- ・開催場所 甲府市総合市民会館
- ・参加状況 作品数 約400点 参加校数 約40校
- <3ページ後に受賞者一覧を掲載。上位入賞の10点を全国作品コンクールに出品>

## 5. 第15回全国中学生創造ものづくり教育フェア

- ・実施日 平成27年1月25日(土)～26日(日)
- ・開催場所 第一会場 新木場タワー  
第二会場 木材会館  
第三会場 女子栄養大学駒込キャンパス



### ①全国生徒作品コンクール (坂本 厚雄 教諭：明見中)

○県作品展入賞作品の中から10点の作品を出品しました。

技Ⅰ部門	山梨市立松里中学校	岡部 貴哉	2	フリーラック
	山梨市立松里中学校	内藤 有梨佳	2	フリーラック
	中央市立玉穂中学校	佐藤 優希	2	バタバタ本棚
技Ⅱ部門	甲州市立勝沼中学校	三澤 真央	3	ライトBOX
	甲府市立南西中学校	三井のどか、 保坂梨湖	3	コーヒー缶を2段積み にできるロボット
家Ⅰ部門	山梨市立山梨南中 学校	吉岡 萌	3	つなげて・つなげて (幼児のおもちゃ)
	山梨市立山梨南中 学校	山岸 優希	3	TQB～アイキューブ～ (幼児のおもちゃ)
	甲斐市立竜王中 学校	雪江 真綾	2	基礎縫いクラッチバック
家Ⅱ部門	山梨市立山梨南中 学校	飯島 美汐	2	夢のカタチ
	山梨市立山梨南中 学校	武藤 沙季	3	ジーンズバッグ(大切な思い出)

### ②あなたのためのおべんとうコンクール 全国大会

○山梨県からは、全国予選に竜王北中学校が応募し、予選を勝ち抜き、全国大会に3名が参加 < 名取 小夏・石井 優香・黒部 海斗 > しました。  
作品名 < 甲斐御膳 >

### ③創造アイデアロボット コンテスト全国大会

○ロボットコンテスト関東大会を勝ち抜いた以下のチームが参加しました。

授業内部門

附属中 LIFE!!

結果 全国ベスト8

< 黒澤 玲音・野口 勝生・天野 翔偉・戸原 理究 >  
(関東を3位相当で抜けました)



### ④豊かな生活を創るアイデアバッグ コンクール 全国大会

(全国責任者 小林 孝 教諭：甲府南西中)

生徒は参加できませんでしたが、全国大会の主担当として運営しました。たくさんの先生にご協力いただきました。ありがとうございました。

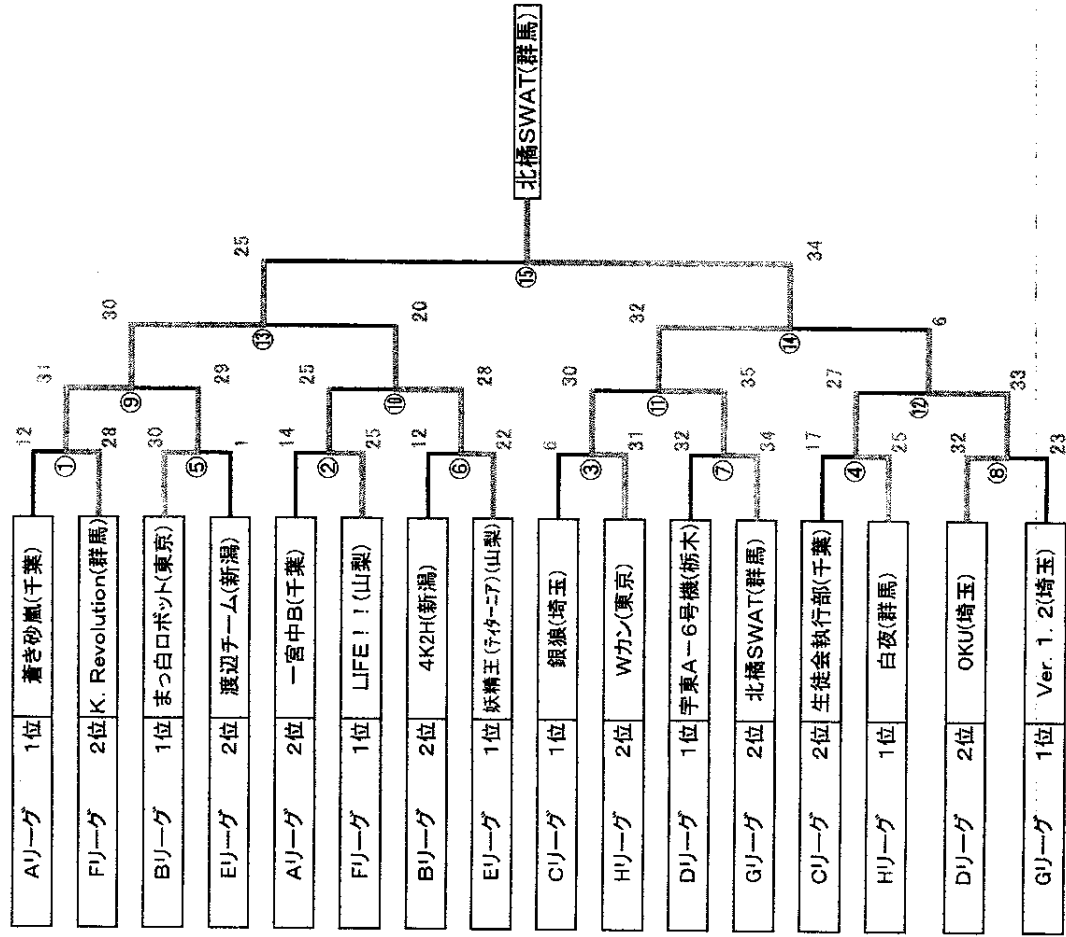
運営担当県としては、枠もあるので、是非生徒の参加があるといいと思います。



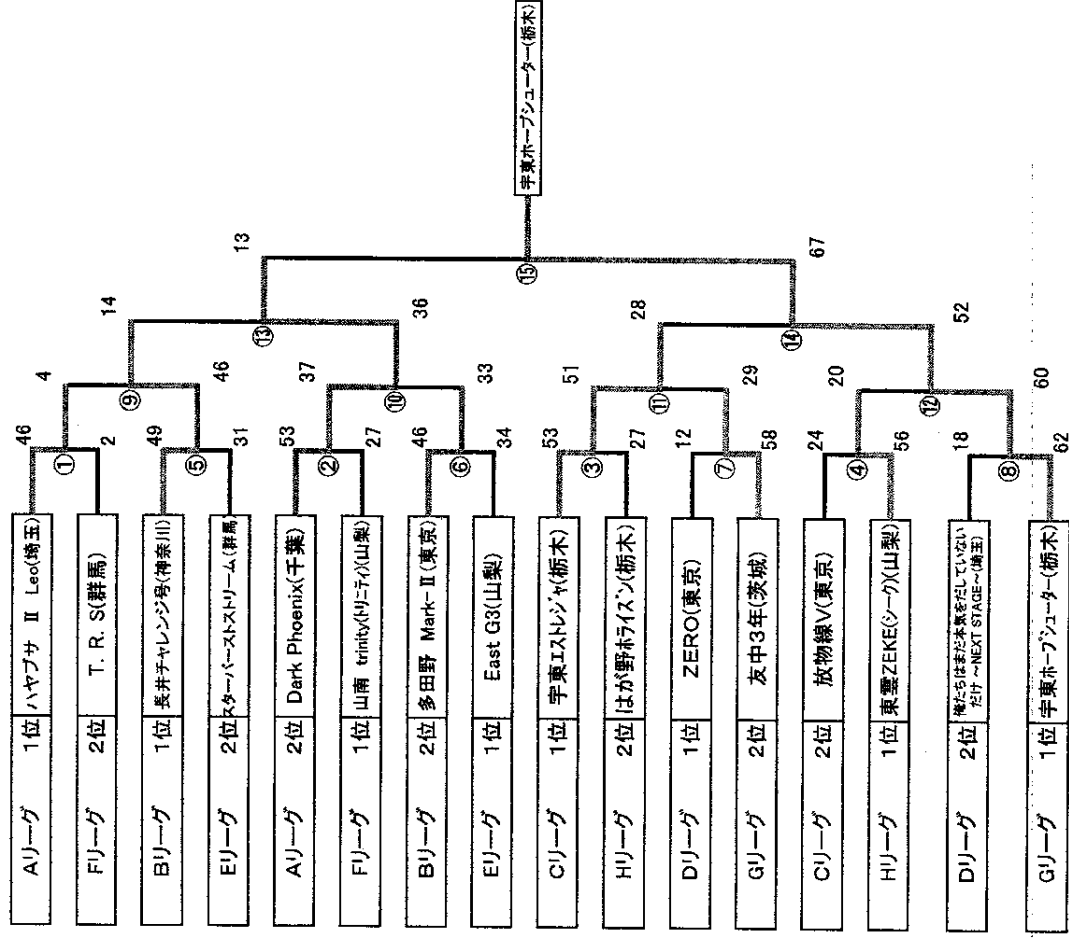
「ロボコンやまなし2014」入賞及び表彰校

区分	中学部		高校部		自由参加の部		大学・一般の部	
	Gather & put 2014	Shooting Star Second-season	対戦型ペットボトル運び競技	ソローカーカー競技	対戦型球入れロボット競技	自律型ゴルフロボット競技	ソローカーカー競技	
優勝	知事賞 妖精中学校 附属中学校	知事賞 東置座中学校 甲府東中学校	知事賞 蓮工川号運輪工業高校	知事賞 蓮崎工業高校 2号	知事賞 一寸法師 蓮崎工業高校	知事賞 M M r o b o 山梨大学電気電子システム工学科	知事賞 S P - M K . 6 産業技術短期大学	
準優勝	教育長賞 Green 附属中学校	教育長賞 East G 3 甲府東中学校	教育長賞 蓮工 MS1 号 蓮崎工業高校	教育長賞 蓮工3号蓮崎工業高校	知事賞 M & S 機械電子工業会会長賞	知事賞 めしあ 機械電子工業会会長賞	知事賞 完全自立 Dremmer 産業技術短期大学	
第3位	機械電子工業会会長賞 鷹ノ爪附属中学校	機械電子工業会会長賞 山南 Trinity 山梨南中学校	機械電子工業会会長賞 蓮工 MS4 号蓮崎工業高校	機械電子工業会会長賞 アロエもん 甲府工業高校	知事賞 M & S 蓮崎工業高校	知事賞 めしあ 山梨大学コンピュータサイエンス工学科	知事賞 機械電子工業会会長賞 新居浜まぢゆり 新居浜工業高等専門学校	
牧野賞	山南 aura(山梨南中学校)		SKY-G(甲府工業高校 電気科)					
特別賞 (科学奨励賞)	科学アカデミー会長賞 B 附属中学校		科学アカデミー会長賞 T A R O 甲府工業高校 機械科	科学アカデミー会長賞 蓮工3号蓮崎工業高校				
特別賞 (アイデア賞)		発明協会会長賞 山南 fabulous 山梨南中学校	産業支援機構理事賞 メテヤハヤイ 甲府南高校	産業支援機構理事賞 S K Y . G 甲府工業高校 電気科	科学アカデミー会長賞 一寸法師 蓮崎工業高校	電子情報通信学会東京支部長賞 たきやはし 山梨大学コンピュータサイエンス工学科	産業支援機構理事賞 AIT-PS-Lab 慶知工業大学電子システム研究室	
特別賞 (未来科学賞)	NHK 甲府放送局長賞 スーパ-Licco 南西中学校		産業支援機構理事賞 UCHISAWA 次郎 甲府工業高校 機械科					
特別賞 (大学長賞)			山梨日日新聞社長賞 蓮工 MS2 号 蓮崎工業高校	山梨放送社長賞 F o Y 谷村工業高校				
特別賞 (教員賞)	機械学会関東支部長賞 ロケット 勝沼中学校	テレビ山梨社長賞 East Tower 甲府東中学校	山梨大学長賞 オチヤラテイ 富士北稜高校	山梨大学長賞 馬 甲府工業高校				
特別賞 (青工学生会長賞)		山梨青年工業会会長賞 East Dragon 甲府東中学校						
特別賞 (努力賞)	産業支援機構理事賞 G o l o f u i 附属中学校	産業支援機構理事賞 ザンダク ロス Z 蓮崎東中学校						

関東甲信越大会 授業内部門 決勝トーナメント



関東甲信越大会 応用部門 決勝トーナメント



## 第28回 山梨県中学校技術・作品展 受賞者 一覧

番号	分類	学年	作品名	生徒名	支部名	学校名	備考
72	⑪	3	リサイクルおもちゃ「たこさんグルグル」	川野 莉奈	甲府	南西中	山梨県教育長賞
89	①	2	バタバタ本棚	佐藤 優希	中巨摩	玉穂中	山梨県教育長賞
90	①	2	本棚	望月 麻由	中巨摩	玉穂中	山梨県教育長賞
92	①	2	本棚	田中 伶奈	中巨摩	玉穂中	山梨県教育長賞
101	⑬	1	ファイルカバー	小田切はる	中巨摩	甲西中	山梨県教育長賞
146	①	2	ティッシュケース	吉井 千陽	中巨摩	敷島中	山梨県教育長賞
185	⑬	2	基礎縫いクラッチバック	雪江 真綾	中巨摩	竜王中	山梨県教育長賞
196	⑩	3	幼児のおもちゃ	吉岡 萌	東山梨	山梨南中	山梨県教育長賞
197	⑩	3	幼児のおもちゃ	山岸 優希	東山梨	山梨南中	山梨県教育長賞
215	⑬	1	リバーシブルバック	本間小乃夏	東山梨	勝沼中	山梨県教育長賞
216	⑬	3	生活の課題と実践	石黒 奏絵	東山梨	勝沼中	山梨県教育長賞
221	④	3	ロボットコンテスト作品(リラックス)	河村隆之介 内田勇ノ介 平山大雅 坂本裕太郎	東山梨	勝沼中	山梨県教育長賞
226	①	2	フリーラック	岡部 貴哉	東山梨	松里中	山梨県教育長賞
227	①	2	フリーラック	内藤有梨佳	東山梨	松里中	山梨県教育長賞
394	⑪	3	自分史	飯島 崇陽	甲府	北東中	山梨県教育長賞
9	⑭	2	トートバッグ	宮里 真弥	北巨摩	小淵沢中	山日YBS賞
107	⑪	3	積み木	深沢 隆大	中巨摩	若草中	山日YBS賞
118	①	1	本棚	田中 陽織	中巨摩	田富中	山日YBS賞
124	①	1	本棚	岩本 マイキ	中巨摩	田富中	山日YBS賞
167	①	1	cdや本を整理する多目的棚	長尾 百恵	中巨摩	竜王中	山日YBS賞
177	②	2	ピカピカに仕上げるハンガー	長澤龍棋	中巨摩	竜王中	山日YBS賞
205	①	2	本棚	関本 萌	東山梨	山梨北中	山日YBS賞
230	①	2	ブックスタンド	樋田 桜子	東山梨	松里中	山日YBS賞
231	①	2	ブックスタンド	新海 龍二	東山梨	松里中	山日YBS賞
253	⑬	1	非常持ち出しバッグ	横山 大晟	笛吹	御坂中	山日YBS賞
278	⑪	3	絵本	小松 真実	南都留	都留第二中	山日YBS賞
365	⑫	1	我が家の味(いもこじる)	秋山 遥南	峡南	市川中	山日YBS賞
389	⑬	3	幼児のおもちゃ	奥山 理胡	甲府	北西中	山日YBS賞
390	⑬	1	刺し子ランチョンマット	平出 悠士	甲府	北東中	山日YBS賞
407	⑫	2	冬の行事食	大工原 郁奈	南都留	下吉田中	山日YBS賞
4	①	1	本立て	細野 輝	北巨摩	小淵沢中	山日YBS賞 NHK局長賞
69	①	1	CDラック	今村 まなび	甲府	上条中	NHK局長賞
127	①	1	二段本棚	有泉 仰	中巨摩	田富中	NHK局長賞
179	②	2	ピカピカに仕上げるハンガー	杉本 歩夢	中巨摩	竜王中	NHK局長賞
187	⑬	3	エコバッグ	藤原 岳	中巨摩	竜王北中	NHK局長賞
217	⑬	3	生活の課題と実践	小林 萌	東山梨	勝沼中	NHK局長賞
220	④	3	ロボットコンテスト作品(かけるくん)	西剣翔 小崎輝 内田大貴 古屋聖	東山梨	勝沼中	NHK局長賞
234	①	2	道具入れ	金子 滉克	東山梨	笛川中	NHK局長賞
272	⑭	2	ペットボトルホルダー	地主 羽奈花	南都留	忍野中	NHK局長賞
282	⑬	2	3WAYBAG	平井 百香	南都留	都留第二中	NHK局長賞
316	①	1	引き出し付き本立て	筒井裕子	峡南	身延中	NHK局長賞
319	⑬	2	ペットボトル入れ	鮎川莉緒	峡南	身延中	NHK局長賞
341	⑬	3	トートバッグ	穴山羽海	峡南	下部中	NHK局長賞
354	⑬	3	ペットボトルカバーとポケットティッシュケース	丸山 くるみ	峡南	市川南中	NHK局長賞
368	⑪	3	交流体験記	土橋 祐太	峡南	増穂中	NHK局長賞



平成26年度 山梨県中学校  
技術・家庭科研究会決算報告

◎歳入の部 635,071 円

項目	予算額	収入済額	増	減	摘要
会費	70,000	70,000		0	100名×700円
充当金	530,000	530,000		0	学習ノートより
繰越額	35,047	35,047		0	前年度繰越金
利子	1	24		23	預金利息
その他	0	0		0	
合計	635,048	635,071		23	

◎歳出の部 598,730 円

項目	予算額	予算現額	決算額	残額	摘要
1. 事務局費	42,500	30,500	25,790	4,710	
(1) 通信費	31,000	18,000	15,825	2,175	切手、送料等
(2) 備品消耗品費	2,000	4,000	3,965	35	インク代
(3) 事務局会費	7,500	7,500	6,000	1,500	会議費等
(4) 諸費	2,000	1,000	0	1,000	
2. 総会費	11,000	7,000	0	7,000	
(1) 総会費	9,000	5,000	0	5,000	
(2) 役員会費	2,000	2,000	0	2,000	
3. 事業研究費	18,000	12,000	7,486	4,514	
(1) 研究大会	11,000	9,000	7,486	1,514	会場費等
(2) 研究調査	7,000	3,000	0	3,000	
(3) 支部研究費	0	0	0	0	
4. 役員旅費	94,000	125,000	122,999	2,001	関プロ・全日中役員旅費等
5. 生徒作品展	36,000	36,000	34,320	1,680	会場費、賞状代、看板代等
6. ロボコン	7,000	7,000	6,200	800	交通費
7. 研究集録	5,000	2,000	0	2,000	
8. 表彰費	4,000	2,000	0	2,000	
9. 図書費	1,500	1,500	1,000	500	教職員録
10. 全国創造ものづくり教育フェア	50,000	47,000	45,760	1,240	役員宿泊費、会議費等
11. 分担金	158,000	157,000	152,644	4,356	関プロ・全日中分担金、「理論と実践」代(全日中扶・家会費)等
12. 関プロ準備費	23,000	23,000	22,531	469	役員旅費等
13. 関プロ運営費	180,000	180,000	180,000	0	
14. 雑費	2,000	2,000	0	2,000	
15. 予備費	3,048	3,071	0	3,071	
合計	635,048	635,071	598,730	36,341	

\*差引残額 36,341 円 (次年度へ繰り越し)

上記の通り報告いたします。

平成27年3月31日

会長 加々本 哲也

会計 酒井 幸敏

監査の結果、計数に誤りなく、証ひょう書類も完備され、正確であることを認めます。

平成27年3月31日

監査委員 近藤 一行

大木 勝幸

平成 27 年度 山梨県中学校技術・家庭科研究会顧問一覧(案)

氏 名	役 名	氏 名	役 名
藤原 完	元会長	中島 浩三	指導主事
中楯 嘉幸	元会長	清水 弘美	指導主事
大沢 保彦	元会長	武井 俊文	研修主事
葭沢 一富	元会長	赤岡 玲子	研修主事
望月 教三	元会長		
立川 隆章	元会長		
篠原 茂	元会長		
岩間 孝吉	元会長		
森本 六生	元会長		
中村 公明	元会長		
羽田 英雄	元会長		
井上 政義	元会長		
太田 一夫	元会長		
佐々木 與比古	元会長		
西山 豊	元会長		
三枝 修	元会長		
小澤 建二	前会長		

平成27年度 山梨県中学校技術・家庭科研究会役員名(案)

会長・副会長			
役職	氏名	職名	勤務校
会長	加々本 哲也	校長	田富北小
副会長	永田 恵子	教頭	大和中
"	長田 靖	校長	双葉中
副会長(東山)	永田 恵子	教頭	大和中
" (笛吹)	志村 昭	教諭	御坂中
" (峡南)	望月 美彦	教頭	早川北小
" (中巨)	石丸 洋一	校長	八田小
" (北巨)	長久 保学	教諭	韭崎西中
" (南都)	坂本 幸男	校長	富士見台中
" (北都)	沢登 守	教頭	七保小
" (甲府)	鈴木 昇	教頭	笛南中

会長が委嘱する事務局員			
役職	氏名	職名	勤務校
事務局長	中澤 康夫	教諭	玉穂中
" 次長	小林 孝	教諭	南西中
関プロ事務局長	神宮寺 透友	教諭	敷島中
研究部長	梶原 将司	教諭	下吉田中
" 副部長	古屋 豊美	教諭	明見中
"	山主 公彦	教諭	山梨大附屬中
授業研究部技術	藤原 祐喜	教諭	塩山中
" 家庭	清田 礼子	教諭	甲府東中
総会計	酒井 幸政	教諭	笛川中
ロボコン部長	石田 宏	教諭	甲府東中
" 副部長	齊藤 和裕	教諭	山梨南中
"	西川 卓	教諭	甲府西中
作品展 主担当	保坂 厚雄	教諭	明見中
" 副担当	山岸 正人	教諭	北西中
調査資料部長	平賀 文仁	教諭	東桂中
" 副部長	石田 周子	教諭	大和中
編集部長	渡辺 浩二	教諭	櫛形中
広報(web)部長	山主 公彦	教諭	山梨大附屬中
全国ものづくり	小林 孝	教諭	南西中
教育フェア担当	古屋 奈穂子	教諭	勝沼中
アドバイザー	鈴木 昇	教頭	笛南中
アドバイザー	川崎 将人	教頭	久那土中

支部事務局長			
支部	氏名	職名	勤務校
東山	吉岡 利彦	教諭	山梨北中
笛吹	土橋 道子	教諭	石和中
峡南	池田 賢二	教諭	市川中
中巨	数野 一郎	教頭	八田中
北巨	高左右 浩	教諭	小淵沢中
南都	斉藤 隆広	教諭	都留一中
北都	角田 学政	教諭	猿橋中
甲府	西川 卓	教諭	西中

会計監査			
支部	氏名	職名	勤務校
中巨摩	河西 修	教諭	竜王中
南都留	星山 昌洙	教諭	吉田中

理事			
支部	氏名	職名	勤務校
東山	広瀬 安男	教諭	塩山中
	鈴木 美奈子	教諭	山梨南中
笛吹	柳澤 豊	教諭	石和中
	上野 さとみ	教諭	石和中
峡南	鈴木 祥三	教諭	増穂中
中巨	清水 英樹	教頭	田富中
	石丸 純枝	教諭	櫛形中
北巨	嶋津 英斗	教諭	韭崎東中
南都	樋口 幸子	教諭	河口湖南中
	渡辺 晴美	教諭	都留二中
北都	劔持 和宏	教頭	上野原西中
甲府	小林 孝	教諭	南西中
	清水 恵理	教諭	甲府南中

研究推進委員			
支部	氏名	職名	勤務校
東山	内田 瑛一郎	教諭	勝沼中
	古屋 奈穂子	教諭	勝沼中
笛吹	近藤 一行	教諭	春日居中
	河野 美由紀	教諭	春日居中
峡南	大木 勝幸	教諭	増穂中
	上田 雅子	教諭	市川中
中巨	河西 修	教諭	竜王中
	横森 恭子	教諭	双葉中
北巨	熊田 浩	教諭	高根中
	進藤 詞子	教諭	韭崎西中
南都	星山 昌洙	教諭	吉田中
	熊谷 ゆき江	教諭	都留一中
北都	三井 洋介	教諭	大月東中
	志村 友紀	教諭	大月東中
甲府	山主 公彦	教諭	山梨大附屬中
	清田 礼子	教諭	東中

調査資料部員			
支部	氏名	職名	勤務校
東山	酒井 幸政	教諭	笛川中
	石田 周子	教諭	大和中
笛吹	小野田 耕二	教諭	石和中
	波羅 美智子	教諭	浅川中
峡南	長田 進	教諭	鰐沢中
	遠藤 明子	教諭	増穂中
中巨	市村 淳	教諭	押原中
	新津 寿美子	教諭	竜王中
北巨	藤原 直紀	教諭	白州中
	向山 幸恵	教諭	韭崎東中
南都	平賀 文仁	教諭	東桂中
	岩村 美津子	教諭	吉田中
北都	田中 政巳	教頭	上野原西小
甲府	向山 芳樹	教諭	北東中
	石原 幸子	教諭	上条中

## 平成27年度 各学校 技術家庭科 名簿

岩手小	中村精志	東山梨	大和中	永田恵子
塩山北中	那須文彦		塩山中	藤本珠美
塩山中	広瀬安男		勝沼中	古屋奈穂子
塩山中	藤原祐喜		大和中	石田周子
勝沼中	内田瑛一郎		山梨北中	向山栄子
松里中	碓井篤		山梨南中	鈴木美奈子
山梨北中	吉岡利彦			
山梨南中	齊藤和裕			
笛川中	酒井幸政			

浅川中	切金力	笛吹	浅川中	波羅美智子
石和中	柳澤豊		石和中	上野さとみ
石和中	小野田耕二		石和中	土橋道子
一宮中	土屋美紀		一宮中	戸田まゆみ
春日居中	近藤一行		春日居中	河野美由紀
御坂中	志村昭		御坂中	柳澤幸子

市川中	池田賢二	峡南	市川中	上田雅子
増穂中	鈴木祥三		増穂中	遠藤明子
増穂中	大木勝幸			
久那土中	川崎将人			
鰍沢中	長田進			
早川北小	望月美彦			

敷島中	神宮寺透友	中巨摩	敷島中	柳本朱美
玉幡中	岡田強		玉幡中	川窪和子
双葉中	長田靖		双葉中	横森恭子
双葉中	小山文康		竜王北中	榛原砂穂理
竜王北中	飯窪優		竜王中	新津寿美子
竜王中	河西修		押原中	佐野富美
竜王中	三井久		田富中	雨宮利美
押原中	市村淳		田富中	石川知佳
田富中	清水英樹		玉穂中	永坂珠輝
田富中	池田尚		櫛形中	石丸純枝
玉穂中	加々本哲也		甲西中	金子志麻
玉穂中	中澤康夫		白根巨摩中	坂本久美
南湖小	遠藤敏		白根中御勅使中	中込純子
櫛形中	渡辺浩二		白根百田小	市川美江子
甲西中	佐野和彦		若草中	岡こずえ
白根巨摩中	仙洞田和樹			
白根中御勅使中	中嶋秀樹			
八田小	石丸洋一			
八田中	数野一郎			
八田中	近藤陽一朗			
若草中	依田幸男			

韮崎西中	長久保学	北巨摩	韮崎西中	進藤詞子
韮崎東中	嶋津英斗		韮崎東中	向山幸恵
小淵沢中	高左右浩			
高根中	熊田浩			
白州中	藤原直紀			

忍野中	石原拓馬	南巨摩	忍野中	和田佳苗
西浜中	上田真司		河口湖南中	樋口幸子
都留一中	齊藤隆広		河口湖南中	渡邊良子
都留二中	内田圭祐		都留一中	熊谷ゆき江
東桂中	平賀文仁		都留二中	渡辺晴美
下吉田中	梶原将司		下吉田中	矢崎理恵子
吉田中	星山昌洙		吉田中	岩村美津子
富士見台中	坂本幸男		明見中	古屋豊美
明見中	保坂厚雄			

上野原西中	劔持和宏	北都留	上野原中	小宮山美華
上野原西小	田中政巳		大月東中	志村友紀
七保小	沢登守			
大月東中	三井洋介			
猿橋中	角田学政			

千代田小	望月一夫	甲府	北新小	網倉玉枝
上条中	小野一人		上条中	石原幸子
北中	石田剛士		北中	田原睦美
城南中	入蔵靖彦		城南中	粟冠真理奈
城南中	松本豊和		城南中	田澤久仁子
城南中	岩間光		富竹中	萩原佳子
富竹中	瀬田肇		南西中	成嶋久代
南西中	小林孝		西中	深澤茉莉
西中	西川卓		東中	清田礼子
東中	石田宏		山梨大附属中	山本裕子
東中	入蔵靖彦		北西中	宮崎茜
山梨大附属中	山主公彦		北東中	有賀多恵
北西中	山岸正人		南中	清水恵理
北東中	向山芳樹		笛南中	星栄子
南中	杉本博之			
笛南中	鈴木昇			
笛南中	藤巻賢司			

会員数	技術	家庭科	計
東山梨	9	6	15
笛吹	6	6	12
峡南	6	2	8
中巨摩	21	15	36
北巨摩	5	2	7
南巨摩	9	8	17
北都留	5	2	7
甲府	17	14	31
計	78	55	133

\* 各支部の名簿をもとに作成してあります。  
 \* 手落ち・間違い等があるかもしれません。  
 中澤まで教えてください。

## 平成27年度 事業計画(案)

月	全体にかかわる事業計画	事務局関係	山梨関プロ関係
4		11(土):第16回全国ものづくりフェア運営委員会 於:東京都中央区立佃中学校	23(木):第1回研究会
5	支部名簿完成提出	23(土):全日中理事会 於:東京・市ヶ谷ヴォーグビル	21(木):第2回研究会 研究部合同・総務部・運営部 29(金):関プロ理事会(第3回研究会) 於:クラウンパレス甲府
6	23(火):平成27年度研究大会 於:玉穂総合会館 30(火):中学校技術・家庭科授業実践研修会(1回目)<研修番号235> 於:総合教育センター 14:20~ 提案者・各支部研究推進委員・各部部长・主任は申し込みを忘れずに 関プロ山梨大会提案原稿の検討①		23(火):平成27年度研究大会 於:玉穂総合会館 終了後<研究部合同研究会> <各分科会にて打ち合わせ等>
7			14(火):第4回研究会 研究部合同 於:玉穂総合会館 29(木):第5回研究会 研究部合同 於:場所未定
8	11(火):中学校技術・家庭科授業実践研修会(2回目)<研修番号235> 於:総合教育センター 9:20~ 関プロ山梨大会提案原稿の検討②		
		1(土):第16回全国ものづくりフェア運営委員会 於:場所未定	25(木):第6回研究会 各部ごと日時会場指定
9			状況において研究会を随時開催
			状況において研究会を随時開催
10		15(木):第7回研究会 直前の連絡確認 玉穂中15時~大会資料袋つめ	15(木):第7回研究会 直前の連絡確認 玉穂中15時~大会資料袋つめ
	29(木):関プロ山梨大会 全体会 於:甲府市総合市民会館	29(木):関プロ山梨大会 11時~理事研修会	30(金):関プロ山梨大会 各分科会研究授業
11	21日(土):ロボコンやまなし2015 於:アイメッセ		
12	6(日):ものづくりフェア関東大会 群馬大会 於:渋川市 ・運営協力(ロボコン審判)生徒引率 (土)~(日): 技術・家庭科作品展 於:未定 ただいま検討中	12(土):第16回全国ものづくりフェア運営委員会 於:場所未定	
	12(火):技術家庭科教育課程研修会 <研修番号234> 申し込み必要 2:20~「学習指導と評価について」県指導主事		
1	23(土)~24(日) 第16回創造ものづくり教育フェア ・「豊かな生活を創る アイデアバッグ」コンクール 本県運営副担当 審査員派遣	22(金):第16回全国中学生創造ものづくり教育フェア・前日準備 武蔵野市立武蔵野総合体育館 武蔵野市吉祥寺北町5-11-20 tel 0422-56-2200	
2		( )関プロ埼玉大会理事研修会 および研究部研修会 於:場所未定 指導助言・文科省 教科調査官	
3		5(土):第16回全国ものづくりフェア運営委員会 於:場所未定	

平成27年度 山梨県中学校  
技術・家庭科研究会予算（案）

◎歳入の部 636,342 円

項目	本年度予算額	前年度収入済額	増	減	摘要
会費	70,000	70,000	0		100名×700円
充当金	530,000	530,000	0		学習ノートより
繰越額	36,341	35,047	1,294		前年度繰越金
利子	1	24		-23	預金利息
その他	0	0			
合計	636,342	635,071	1,271		

◎歳出の部 636,342 円

項目	本年度予算	前年度予算現額	増	減	摘要
1. 事務局費	42,500	30,500	12,000		
(1) 通信費	31,000	18,000	13,000		はがき、切手、送料等
(2) 備品消耗品費	2,000	4,000		-2,000	消耗品費等
(3) 事務局会費	7,500	7,500		0	会議費等
(4) 諸費	2,000	1,000	1,000		謝礼、事務用品費、その他
2. 総会費	11,000	7,000	4,000		
(1) 総会費	9,000	5,000	4,000		会場費、資料印刷代、講師・助言者謝礼等
(2) 役員会費	2,000	2,000		0	役員会議費等
3. 事業研究費	18,000	12,000	6,000		
(1) 研究大会	11,000	9,000	2,000		会場費、講師・助言者謝礼、看板代等
(2) 研究調査	7,000	3,000	4,000		研究推進委員会・専門部費等
(3) 支部研究費	0	0		0	
4. 役員旅費	96,000	125,000		-29,000	関プロ・全日中役員旅費等
5. 生徒作品展	36,000	36,000		0	会場費、賞状代、審査員謝礼、役員費等
6. ロボコン	7,000	7,000		0	生徒指導費、準備費等
7. 研究集録	5,000	2,000	3,000		研究集録印刷・製本代等
8. 表彰費	4,000	2,000	2,000		額縁代等
9. 図書費	1,500	1,500		0	参考図書費等
10. 全日中宿泊ものづくり教育フェア	50,000	47,000	3,000		役員宿泊費、会議費等
11. 分担金	157,000	157,000		0	関プロ・全日中分担金、「理論と実践」代（全日中技・家会費）等
12. 関プロ準備費	23,000	23,000		0	関プロ諸準備費等
13. 関プロ運営費	180,000	180,000		0	山梨関プロ支部研究費等
14. 雑費	2,000	2,000		0	事務局会会議費等
15. 予備費	3,342	3,071		271	写真現像代、謝礼、事務用品等
合計	636,342	635,071	1,271		

## 連絡事項

### (1) 第54回関東甲信越地区中学校技術・家庭科研究大会山梨大会 確認事項

#### ①参加手続き

※関プロ山梨大会の要項を各支部で配布していただき、各支部ごとに参加者を取りまとめ、8月11日(火)の中学校技術・家庭科授業実践研修会のおりに申込書に参加資料代・弁当代を添えて、事務局会計まで申し込んで下さい。

(研究会の関係で集まらない場合は、8月25日(火)の第6回研究会の際に必ずご持参ください。)

<授業者・提案者・助言者の参加資料代、30日の弁当代は無料となります>

### (2) 第16回全国中学生創造ものづくり教育フェアについて

①日時：平成28年1月23日(土)～24日(日)

場所 武蔵野市立武蔵野総合体育館

武蔵野市吉祥寺北町5-11-20 tel 0422-56-2200

#### ②内容：

##### ◆『木工チャレンジコンテスト』

・「アイデア部門」「製作部門」の2部門があります。

##### ◆『「豊かな生活を創るアイデアバッグ」コンクール』

・布による製作品の加工技術やデザイン、創造性を競う。

※山梨県と長野県で全国大会を運営しています。山梨は今年度からは副担当。

##### ◆『「あなたのためのおべんとう」コンクール』

・食べてもらう人のことを考えたお弁当づくりを通して、身近な人との関わりの大切さや食の重要性を知ることが目的です。

##### ◆創造アイデアロボットコンテスト全国中学大会

・全国統一規格によるロボットコンテストを各都道府県で実施、上位入賞者を決定します。その後ブロック予選(全国7ヶ所)にて全国大会の代表チームを決定。

##### ◆生徒作品コンテスト

・各都道府県において、授業内製作作品(I部門)3点、自主制作作品(II部門)2点ずつそれぞれの分野で計10点選出できる。

※上記5つの競技会、コンテストにおける優秀な成績を収めた生徒には、文部科学大臣奨励賞をはじめ各賞状が授与されます。

※『ロボコン』と『アイデアバッグ』は、関東甲信越大会が12/6(日)に群馬県で開催されます。その前には山梨県予選を行い県代表を決定します。

(ロボコンは11/21(土)ロボコン山梨2015で県代表が決定されます)

※『あなたのためのおべんとう』コンクールについては、県代表がそのまま全国予選で審査され、1月の全国大会に出場できるか決まります。

※創造生徒作品コンテストは、12/ (上)・ (日)開催の山梨県技術・家庭科生徒作品展において代表を決定します。

**重要！**

ロボコンと生徒作品展以外は、各学校で出場希望者が出た場合、県代表を選考するための組織や日程など具体的に決まっておりません。関東甲信越大会と平行して事務局を中心に取り組んでいくことになると思います。

各支部の研究推進委員は、「木工」「アイデアバッグ」「弁当」の各部門で、出場希望校があるか夏期休業中に確認をし、8月25日までに中澤まで報告をお願いします。

※「第16回全国中学生創造ものづくり教育フェア」については下記HPより確認できます。

<http://www.ajgika.ne.jp>

(3) ロボコン山梨2015について

日時 11月21日(土) 8:30~13:00

場所 アイメッセ山梨cホール

種目 「創造アイデアロボットコンテスト」の3つの部門に準ずる

夏季講習会 8月前半に実施予定

詳細は以下のページから入って行ってご覧ください。

<http://www.ypec.ed.jp/ykrobo/>

(4) 山梨県技術・家庭科研究会のwebページについて

長い間、付属中の山主先生に運営してもらっておりますwebページを有効に利用して頂きたいと思えます。

県内の先生向けに、パスワードを使っては入れる場所をつくっておりますので、必要な配布書類などをアップしたりすることができます。何かありましたら、付属中山主先生までご連絡ください。

なお、山梨県内の先生向けのページのパスワードは【y g i k a】となっております。

<http://www.ypec.ed.jp/ygika/>



# 山梨県中学校技術・家庭科研究会会則

昭 34.2 制定 36.6 改 37.6 改 39.5 改  
40.11 改 45.6 改 46.6 改 48.6 改  
平 25.5 改

- 第 1 条 本会は山梨県中学校技術・家庭科研究会と称し、事務局は会長の指定する場所におく。
- 第 2 条 1 本会は中学校の技術・家庭科関係者を以て組織する。  
2 本会は各郡市に支部をおく。  
3 本会は研究推進委員会をおき、必要に応じて専門部会及び特別委員会をおくことができる。
- 第 3 条 本会は中学校技術・家庭科の充実と進展をはかることを目的とする。
- 第 4 条 前条の目的を達成するため、下記の事業を行う。  
1 研究会・講演会・見学会などの開催。  
2 基本的事項の調査。  
3 刊行物の刊行。  
4 技術教育に関する意見の提出。  
5 その他技術・家庭科振興のための施策。
- 第 5 条 本会に下記の役員をおき、任期は 1 カ年とする。ただし、再任をさまたげない。  
会長：1 名 副会長：各支部 1 名 理事：若干名 事務局：若干名  
研究推進委員：若干名 各専門部長  
上記の役員の他に、必要に応じて顧問をおくことができる。
- 第 6 条 役員は任期は下記のとおりとする。  
1 会長は理事会において選出し、会務を総理し、本会を代表する。  
2 副会長は理事会において選出し、会長を補佐する。  
3 理事は各支部選出の 2 名（技術家庭科各 1）がなり、理事会を構成する。  
4 専門部会の正副部長は理事会において選出し、部員は各支部並びに理事会の推薦者とし、会長が委嘱する。  
5 支部長は理事会に出席するものとする。  
6 事務局員は会長が委嘱し、庶務・会計を掌る。  
7 研究推進委員は、各支部選出の若干名と理事会の推薦者若干名とがなり、研究推進委員会を構成し、正副委員長は理事会に出席する。  
8 顧問は本会の運営上必要と思われるとき、会長の推薦と理事会の承認によりおくことができる。  
9 特別委員は必要に応じて会長の委嘱により委員会を構成し、委員長は理事会に出席する。  
10 会計監査は理事会において選出し、会計を監査する。
- 第 7 条 本会は下記のとおり会合を開く。  
1 総会は毎年 1 回催し、予算・決算・役員承認その他重要事項を審議決定する。  
2 理事会は会長の要請により必要に応じて開催し、各種事業の企画ならびに処理にあたる。  
3 支部長会、研究推進委員会、専門部会、特別委員会は必要に応じて随時開催し、本会の研究推進を図る。
- 第 8 条 本会の経費は会費その他による。
- 第 9 条 本会の会計年度は、毎年 4 月 1 日より翌年 3 月 31 日までとする。

# 山梨県中学校技術・家庭科研究会表彰規定

昭 44.4 制定 46.6 改

- 第 1 条 本研究会の発展に寄与したものを、本規定により総会において表彰する。
- 第 2 条 表彰の内容は感謝状ならびに記念品とする。
- 第 3 条 表彰は次の各号のひとつに該当するものとする。
- 1 本研究会の会長で、その職を辞するとき。
  - 2 本研究会の副会長で、その職 2 年以上であり、その職を辞するとき。
  - 3 本研究会の理事・監事・専門部正副部長および研究推進委員で、その職に 3 年以上のもので、その職を辞するとき。
  - 4 本研究会の事務局員の職に 2 年以上のもので、その職を辞するとき。
  - 5 本研究会の上記役員通算 3 年以上のもので、上記の表彰を受けないもの。
- 第 4 条 表彰者は各号により表彰該当者がいるときは、事務局による表彰候補者調査書の作成の後、理事会に提出するものとする。
- 第 5 条 第 3 条の各号により表彰該当者のあるときは、事務局は表彰候補者調査書を作成し、理事会に提出するものとする。

# 山梨県小中学校教育研究会 技術・家庭科教育部会細則

昭 44.4 制定 46.6 改

- 第 1 条 本部会は山梨県小中学校教育研究会技術・家庭科教育部会と称し、中学校技術・家庭科の充実と進展をはかることを目的とする。
- 第 2 条 本部会の事務局を部会長の指定する場所におく。
- 第 3 条 本部会は本県中学校の技術・家庭科関係職員を以て組織する。
- 第 4 条 本部会に次の役員をおき、部員の中から選出する。
- 部会長：1 名 副部長：2 名 評議員：若干名  
部庶務・会計：若干名
- 第 5 条 部総会は毎年 1 回開き、部会長がこれを招集する。ただし部会長が必要と認める場合、臨時総会を招集することができる。
- 第 6 条 部総会が付議する事項は、次のとおりとする。
- 1 予算の決定、決算、役員および事業計画の承認。
  - 2 部会細則の決定および変更。
  - 3 その他必要と認める事項。
- 第 7 条 部会の経費は本会の経費を以てこれにあてる。
- 第 8 条 この細則は、昭和 44 年 4 月 1 日から適用する。

### 技術・家庭科の教科全体にかかる研修会

番号	研修会名	月日	研修内容	講師	場所
235	中学校技術家庭科 授業実践研修会	6/30(火) 14:20～ 8/11(火) 9:20～	○研究レポートについて書き方について  1. 実践研究事例の協議(各分野) (1) 提案者の説明と質疑, 改善の意見交換  (2) 指導助言  提案者は, 協議内容を参考にレポートを再編集して, 第2回目の研修会に提案する。	教育センター 主幹・研修主事 武井 俊文  指導助言 義務教育課指導主事 清水 弘美 義務教育課指導主事 中島 浩三 笛南中 教頭 鈴木 昇 大和中 教頭 永田 恵子 北新小 教頭 網倉 五枝 コーディネーター 明見中 教諭 古屋 豊美 下吉田中 教諭 梶原 将司	山梨県総合教育センター 情報研修室(情報棟1階)  6/30(火) 技術分野 第7研修室 家庭分野 情報研修室  8/11(火) 技術分野 第2パソコン室 家庭分野 情報研修室
234	中学校技術家庭科 教育課程研修会	28/1/12 (火) 14:20～	1. 山梨県の技術・家庭科の研究について (1)「技術・家庭科の学習指導と評価について」  (2) 指導助言  ※内容検討中	指導助言 義務教育課指導主事 清水 弘美 義務教育課指導主事 中島 浩三 コーディネーター 明見中 教諭 古屋 豊美 下吉田中 教諭 梶原 将司	山梨県総合教育センター 第4研修室 (別館3階)

### 技術分野の専門性・実践力を高める研修会

番号	研修会名	月日	研修内容	講師	場所
237	中学校技術分野 材料と加工指導技術 研修会	8/19(月) 9:20～ 16:00	1. 材料と加工の学習指導と評価について (1) 中学校で押さえるべき技術の概念 (2) 材料と加工の視点の育成 2. 実践演習	教育センター 主幹・研修主事 武井 俊文  松里中学校 碓井 篤	受付 9:00～9:20 技術科棟1階 技術教育研究室前 会場 技術研究室
236	中学校技術分野 生物育成指導技術 研修会	27/8/12 (水)	9:20～9:40 1. 中学校「生物育成」の学習指導と評価について 9:50～12:00 2. 農業生産に関わる技術について  13:00～16:00 3. 計画の発表・協議 各自の発表と意見交換	教育センター 主幹・研修主事 武井 俊文  総合農業技術センター 研究員 加藤 知美  山梨南中 教諭 齊藤 和裕 猿橋中 教諭 角田 学政 総合農業技術センター 研究員 加藤 知美	受付 9:00～9:20 技術科棟1階 技術教育研究室前 会場 技術研究室

研修会の2次へのあとは, 任意に希望申込が出来ます。各校の研究主任さんにお問い合わせするか, 直接センターの担当者に電話してください。

※運営担当者(武井)の直通電話番号は055-262-5508, メールアドレスは [timitakei@kai.ed.jp](mailto:timitakei@kai.ed.jp) です。

※担当者が不在の場合は代表番号055-262-5571(代)に御連絡ください。

平成27年度 中学校技術家庭科教育課程研修会 実施要項

運営担当者：武井 俊文，中澤 透

- 1 目的 県内各地域の実証研究レポートの発表をもとに協議し、技術・家庭科の学習指導と評価に関する理解を深め、指導力を高める。
- 2 期日 平成28年1月12日(火)
- 3 対象 中高特 定員50名
- 4 会場 山梨県総合教育センター 笛吹市御坂町成田1456 055-262-5571 (代)
- 5 日程と研修内容

1日目 平成28年1月12日(火) 受付 14:20 別館2階 第4研修室	時間 14:20～17:00	会場 第4研修室 第5研修室
午後	(14:20～14:50) 全体会 (第4研修室) 1 協議 「技術・家庭科の学習指導と評価について」 主幹・指導主事 清水 弘美 副主幹・指導主事 中島 浩三	家庭分野 (第5研修室)
(15:00～17:00) 各分野内各別の協議	2 実践研究事例の協議 (1) 実践研究事例の協議 (2) 協議 質疑・意見交換 (3) 協議 質疑・意見交換	技術分野 (第4研修室)
主幹・指導主事 清水 弘美 副主幹・指導主事 中島 浩三 業務教育課 教頭 堀原 豊美 常南中学校 教諭 下吉田 将司 北新小学校 教諭 明見 中学校 教諭		

※中学校技術・家庭科担当教諭は、できるだけ受講してください。  
 ※運営担当者の直通電話番号は 055-262-5508、メールアドレスは tintakei@kai.ed.jp です。  
 ※担当者が不在の場合は代表電話番号に御連絡ください。

6 連絡事項

- 印刷物を毎回必ず持参してください。
- センターは「県内特選」です。受講者の御理解と御協力をお願いいたします。
- 必修研修での欠席・遅刻・早退は規定の形式（「研修会の手引」を参照）で届け出てください。それ以外の研修について
- は合教育センターでは、出席等の危機管理上の理由から、研修会受講者にも名札の着用を呼びかけています。学校名氏名
- が分かるように、「初任者研修」11年度受講者研修を除き、研修会受講後の「研修会アンケート」が電子化されました。帰
- 校後の回答になります。研修会受講後2週間以内での回答をお願いします。
- 全体会の後、技術分野 家庭分野に分かれて研修します。
- 受講者の方は、30分印刷してきてください。

平成27年度 中学校技術家庭科授業実践研修会 実施要項

運営担当者：武井 俊文，中澤 透

- 1 目的 県内の授業実践の発表をもとに、よりよい改善策等を協議することを通して、授業実践力を高める。
- 2 期日 平成27年6月30日(火)、平成27年8月11日(火)
- 3 対象 中高特 定員40名
- 4 会場 山梨県総合教育センター 笛吹市御坂町成田1456 055-262-5571 (代)
- 5 日程と研修内容

1日目 平成27年6月30日(火) 受付 14:00～14:20 情報教育棟1階 情報研修室	時間 14:20～17:00	会場 第7研修室 情報研修室
午後	(14:20～14:40) 全体会 (情報研修室) 1 業務教育課 副主幹・指導主事 中島 浩三 総合教育センター 主幹・研修主事 武井 俊文	
(14:40～17:00) 実践研究事例の協議	2 実践研究事例の協議 (1) 実践研究事例の協議 質疑・意見交換 (第7研修室) (2) 協議 質疑・意見交換 (情報研修室)	技術分野 (第7研修室)
主幹・指導主事 中島 浩三 副主幹・指導主事 武井 俊文 業務教育課 教頭 水田 憲子 常南中学校 教諭 堀原 豊美 北新小学校 教諭 下吉田 将司 明見中学校 教諭		
2日目 平成27年8月11日(火) 受付 09:00～09:20 情報教育棟1階 情報研修室	時間 09:20～16:00	会場 情報研修室 第2パソコン室
終日	(9:20～9:40) 全体会 (情報研修室) 1 総合教育センター 主幹・研修主事 武井 俊文	
(9:40～12:00) 実践研究事例の協議	2 実践研究事例の協議 質疑・意見交換 (第2パソコン室) (1) 改善部分の説明と質疑・意見交換 (情報研修室)	技術分野 (第2パソコン室)
主幹・指導主事 中島 浩三 副主幹・指導主事 武井 俊文 業務教育課 教頭 水田 憲子 常南中学校 教諭 堀原 豊美 北新小学校 教諭 下吉田 将司 明見中学校 教諭		
(12:00～16:00) 実践研究事例の協議	3 実践研究事例の協議 質疑・意見交換 (第2パソコン室) (1) 改善部分の説明と質疑・意見交換 (情報研修室)	家庭分野 (情報研修室)
主幹・指導主事 中島 浩三 副主幹・指導主事 武井 俊文 業務教育課 教頭 水田 憲子 常南中学校 教諭 堀原 豊美 北新小学校 教諭 下吉田 将司 明見中学校 教諭		

※各地域の技術・家庭科研究推進委員は、できるだけ受講してください。  
 ※運営担当者の直通電話番号は 055-262-5508、メールアドレスは tintakei@kai.ed.jp です。  
 ※担当者が不在の場合は代表電話番号に御連絡ください。

### 平成27年度 中学校技術分野生物育成指導技術研修会 実施要項

運営担当者：武井 俊文，中澤 透

- 1 目的 中学校技術分野で必修となった「生物育成に関する技術」の内容について、専門的な知識技能を習得する。
- 2 期日 平成27年8月12日(水)
- 3 対象 小中高特 定員10名
- 4 会場 山梨県総合教育センター 笛吹市御坂町成田1 4 5 6 055-262-5571 (代)
- 5 日程と研修内容

1日目	平成27年8月12日(水) 受付 09:00 ~ 09:20 技術科棟1階 技術教育研究室
時間	09:20~16:00
会場	技術教育研究室
(9:20~9:40)	1 講義 「生物育成領域の学習指導と評価について」 総合教育センター 主幹・研修主事 武井 俊文
(9:50~12:00)	2 講義 「農業生涯に関わる技術について」 総合農業技術センター 研究員 加藤 知美
(13:00~16:00)	3 事例発表・初級 総合農業技術センター 研究員 加藤 知美 山梨南中学校 教諭 齊藤 和裕 篠穂中学校 教諭 角田 学政
終日	

※他の校種や教員からの受講も可能です。  
 ※運営担当者の直通電話番号は 055-262-5508、メールアドレスは [timatekei@kai.ed.jp](mailto:timatekei@kai.ed.jp) です。  
 ※担当者が不在の場合は代表電話番号に御連絡ください。

#### 6 連絡事項

- 印刷物を毎回必ず持参してください。
- 夏季休業中は、駐車場が大変混雑します。車の移動が困難となる場合がありますので、可能な方は相乗りや公共交通機関の利用について、御理解と御協力をお願いいたします。
- 車庫は各自で用意してください。
- 必須研修での欠席・遅刻・早退は指定の様式(「研修会の手引」を参照)で届け出てください。
- 5月1日~10月31日までの期間、クーラーの使用制限を行っています。上着を着用しない、ノーネクタイとする等の服装での参加に御協力をお願いいたします。
- 総合教育センターでは、災害等の危機管理上の理由から、研修会受講者にも各札の着用を呼びかけています。学校名氏名が分かる名札を御用意ください。
- 今年度より、「初任者研修」「10年経験者研修」を除き、研修会受講後の「研修会アンケート」が電子化されました。研修会受講後2週間以内での回答をお願いします。なお、11月下旬から12月にかけて実施される「研修会活用アンケート」への御協力も重ねてお願いいたします。
- 現在実施されている「生物育成に関する技術」の指導計画や学習プリントなどがあります。

### 平成27年度 中学校技術分野材料と加工指導技術研修会 実施要項

運営担当者：武井 俊文，中澤 透

- 1 目的 中学校技術分野で必修内容となった「材料と加工に関する技術」の内容について、専門的な知識技能を習得する。
- 2 期日 平成27年8月19日(水)
- 3 対象 中高校 定員10名
- 4 会場 山梨県総合教育センター 技術研修室 笛吹市御坂町成田1 4 5 6 055-262-5571 (代)
- 5 日程と研修内容

1日目	平成27年8月19日(水) 受付 09:00 ~ 09:20 技術科棟1階 技術教育研究室
時間	09:20~16:00
会場	技術教育研究室
(9:20~9:50)	1 講義 「材料と加工領域の学習指導と評価について」 総合教育センター 主幹・研修主事 武井 俊文
(10:00~12:00)	2 実習演習 松里中学校 教諭 碓井 篤
(13:00~16:00)	3 実習演習 松里中学校 教諭 碓井 篤
終日	

※研修にかかわる費用は受講者の自己負担です。受講決定した方は、その後欠席された場合も費用をいただくこととなりますので御承知ください。  
 ※他の校種や教員からの受講も可能です。  
 ※運営担当者の直通電話番号は 055-262-5508、メールアドレスは [timatekei@kai.ed.jp](mailto:timatekei@kai.ed.jp) です。  
 ※担当者が不在の場合は代表電話番号に御連絡ください。

#### 6 連絡事項

- 印刷物を毎回必ず持参してください。
- 夏季休業中は、駐車場が大変混雑します。車の移動が困難となる場合がありますので、可能な方は相乗りや公共交通機関の利用について、御理解と御協力をお願いいたします。
- 車庫は各自で用意してください。
- 必須研修での欠席・遅刻・早退は指定の様式(「研修会の手引」を参照)で届け出てください。
- 5月1日~10月31日までの期間、クーラーの使用制限を行っています。上着を着用しない、ノーネクタイとする等の服装での参加に御協力をお願いいたします。
- 総合教育センターでは、災害等の危機管理上の理由から、研修会受講者にも各札の着用を呼びかけています。学校名氏名が分かる名札を御用意ください。
- 今年度より、「初任者研修」「10年経験者研修」を除き、研修会受講後の「研修会アンケート」が電子化されました。研修会受講後2週間以内での回答をお願いします。なお、11月下旬から12月にかけて実施される「研修会活用アンケート」への御協力も重ねてお願いいたします。
- 受講する先生方が実施している「材料と加工に関する技術」の指導計画及び工夫創達の場面を設定した学習プリントなどがあります。

平成27年度 中学校家庭分野授業力向上 I 研修会 実施要項

運営担当者：佐野 ますみ， 赤岡 珠子

- 1 目的 家庭分野における今日的課題について扱う。「乗換」「福祉」「福祉」「福祉」について新たな教材を提示し、新たな視点での授業の実践力を育てる。
- 2 期日 平成27年9月18日(火)  
1日
- 3 対象 小中高特 定員20名
- 4 会場 山梨県総合教育センター 笛吹市御坂町成田1456 055-282-5571 (代)
- 5 日程と研修内容

1日	平成27年8月18日(火) 受付 09:00 ~ 09:20 別館2階 被服研修室
時間	09:20~16:30
会場	被服研修室 食物研修室
講師	新産業技術推進者講習会伝達講習 ナレッジを取り入れた授業の実践 東中学校 教諭 清田 礼子 (13:30~16:30) 命の授業 ~心の簿~ カンオ計算機株式会社 CSR推進室 若尾 久
終日	

※初任者及び経験5年未満者は、できるだけ受講してください。

※運営担当者の直通電話番号は 055-263-4606 / メールアドレスは masumin6@kai.ed.jp です。

※担当者不在の場合は代表電話番号に御連絡ください。

6 連絡事項

- 印刷費を必ず持ち参してください。
- 午前中は、狂草編が大家遊戯します。車の移動が困難となる場合がありますので、可能な方は相乗りや公共交通機関の利用について、御理解と御協力をお願いいたします。
- 昼食は各自で用意してください。
- センターは「教室内研修」です。受講者の御理解と御協力をお願いします。それ以外の研修についてはメールで事前に運営担当者へご連絡ください。
- 15日11時までに運営担当者へ連絡してください。上着を着用しない、ノーネクタイとする等の服装での御参加に御協力をお願いします。
- センターで早めに運営担当者へ連絡してください。
- 研修会受講後の理由から、研修会受講者にも各名の着用の呼びかけを行います。学校名氏名が分かる名札を御用意ください。
- 今年度より、「初任者研修」「十年経験者研修」を除き、研修会受講後の「研修会アンケート」が電子化されました。研修後の回答になります。研修会受講後2週間以内での回答をお願いします。なお、11月下旬から12月にかけて実施される「研修会活用アンケート」への御協力も重ねてお願いいたします。

平成27年度 中学校家庭分野授業力向上 II 研修会 実施要項

運営担当者：佐野 ますみ， 赤岡 珠子

- 1 目的 家庭分野における「食生活」「食生活」「消費生活」の領域の学習について、教材開発と授業実践事例（演習・実習）を通して研修し、家庭科の指導力の充実に資する。
- 2 期日 平成27年8月19日(水)  
1日
- 3 対象 小中高特 定員20名
- 4 会場 山梨秀峰調理師専門学校 甲府市中町264 055-242-2223
- 5 日程と研修内容

1日	平成27年8月19日(水) 受付 09:00 ~ 09:20 所外
時間	09:20~16:00
会場	所外
会場	山梨秀峰調理師専門学校
講師	山梨秀峰調理師専門学校 講師 花輪 勉
終日	山梨秀峰調理師専門学校 講師 花輪 勉
会場	被服研修室
時間	13:00~16:00
会場	山梨秀峰調理師専門学校 講師 花輪 勉
終日	山梨秀峰調理師専門学校 講師 花輪 勉

※初任者及び経験5年未満者は、できるだけ受講してください。

※運営担当者の直通電話番号は 055-263-4606 / メールアドレスは masumin6@kai.ed.jp です。

※担当者不在の場合は代表電話番号に御連絡ください。

6 連絡事項

- 印刷費を必ず持ち参してください。
- 午前中は、狂草編が大家遊戯します。車の移動が困難となる場合がありますので、可能な方は相乗りや公共交通機関の利用について、御理解と御協力をお願いいたします。
- 昼食は各自で用意してください。
- センターは「教室内研修」です。受講者の御理解と御協力をお願いします。それ以外の研修についてはメールで事前に運営担当者へご連絡ください。
- 15日11時までに運営担当者へ連絡してください。上着を着用しない、ノーネクタイとする等の服装での御参加に御協力をお願いします。
- センターで早めに運営担当者へ連絡してください。
- 研修会受講後の理由から、研修会受講者にも各名の着用の呼びかけを行います。学校名氏名が分かる名札を御用意ください。
- 今年度より、「初任者研修」「十年経験者研修」を除き、研修会受講後の「研修会アンケート」が電子化されました。研修後の回答になります。研修会受講後2週間以内での回答をお願いします。なお、11月下旬から12月にかけて実施される「研修会活用アンケート」への御協力も重ねてお願いいたします。